

平成21年度

厚生労働省がん研究助成金による市民公開講座

# 「わが国発の新しいがん治療薬 の開発を目指して」

いま、有効な新しいがん治療薬が次々と開発されています。日本では新薬承認の遅れが指摘されていますが、実はその開発の基礎となる研究成果の多くが日本から発信されています。なぜ日本で新薬開発が進まなかったのか、今後日本で新しいがん治療薬を開発するにはどのようにすればよいのか、各界を代表する方々にご討論いただきます。世界に先駆けた新しいがん治療薬開発を目指した取り組みを紹介します。

● 「新しい治療薬の開発・承認までの仕組み：わが国での問題点」

国立がんセンター中央病院

藤原 康弘

● 「歴史から学ぶ：基礎研究での成果がなぜわが国発の臨床開発につながらなかったか？」

○ 「c-Kit とイマチニブ (GIST)」

大阪警察病院

西田 俊朗

○ 「HER2 とトラスツズマブ」

中外製薬株式会社

仁平 新一

● 「わが国のがん領域での新薬開発の現状：海外との比較」

日経 BP 社日経メディカル編集委員

横山 勇生

● 「アカデミアからの新薬開発を目指して：新しい産学連携の形」

名古屋市立大学

石田 高司

日時 平成21年11月7日(土) 15:30 ~ 17:40

場所 主会場 国際研究交流会館3階 国際会議場 (国立がんセンター内 定員数: 180)

中継会場 (テレビ会議システムによる同時中継)

国立病院機構北海道がんセンター (175)

青森県立中央病院 (20)

宮城県立がんセンター (80)

山形県立がん・生活習慣病センター (50)

茨城県立中央病院 (30)

群馬県立がんセンター (100)

千葉県がんセンター (100)

新潟県立がんセンター新潟病院 (30)

静岡県立静岡がんセンター (40)

国立病院機構名古屋医療センター (40)

愛知県がんセンター中央病院 (50)

岐阜大学医学部附属病院 (74)

大阪府立病院機構大阪府立成人病センター (100)

国立病院機構呉医療センター (30)

国立病院機構四国がんセンター (180)

国立病院機構九州がんセンター (80)

大分県立病院 (40)

国立がんセンター東病院 (50)

(カッコ内は定員数です。各会場とも満員の際はご入場できないこともございますので、あらかじめご了承ください。)

ご参加いただく場合には平成21年10月30日(金)までに下記へお申し込み下さい。ご案内をお送り致します。

申込方法：氏名、住所、電話番号、希望会場、参加人数を記入して、下記連絡先に FAX かメールにてご連絡下さい。

事務局 国立がんセンター がん対策情報センター がん対策企画課 研究企画室

東京都中央区築地5-1-1 TEL: 03(3542)2511 (内線2330)

FAX: 03(3542)2401

E-mail: gannjokk@ml.res.ncc.go.jp